

広土会新聞

第3号

1996.4.20 発行

発行所 広島工業大学 広土会
〒731-51 広島市佐伯区三宅2丁目1-1
TEL 082-921-3121



広土会会長

皆田 理

今冬は10年来の厳冬で、こしばかり白銀に輝く雪景色を觀賞する機会に恵まれませんでした。本年は充分堪能致しました。一方、雪に弱い都市機能も再認識致しました。

広土会会員の皆様には益々ご健勝、ご活躍の事とお喜び申し上げます。

顧みますと、昨年は新年の幕開け早々、我が国の自然災害史に大書して残すべき阪神・淡路大震災が発生し、5千余人の尊い人命と莫大な資産が失われました。広土会会員の中にもこの災害に遭遇された方もおられるようですが、犠牲者が出なかった事は不幸中の幸いと申せましょう。

さて、広土会は昭和42年10月に発足以来、本年度で29年目となり、平成9年10月には満30年を向かえる事となりますが、この間、土木工学科を卒業された広土会員は総数2,998名に上ります。手元にある資料から大雑把に卒業生の職種の分布を拾ってみますと建設業、設計コンサルタント、製造業、公務員、自営でそれぞれ約37%、15%、3%、30%及び4%程度となっております。残りの約10

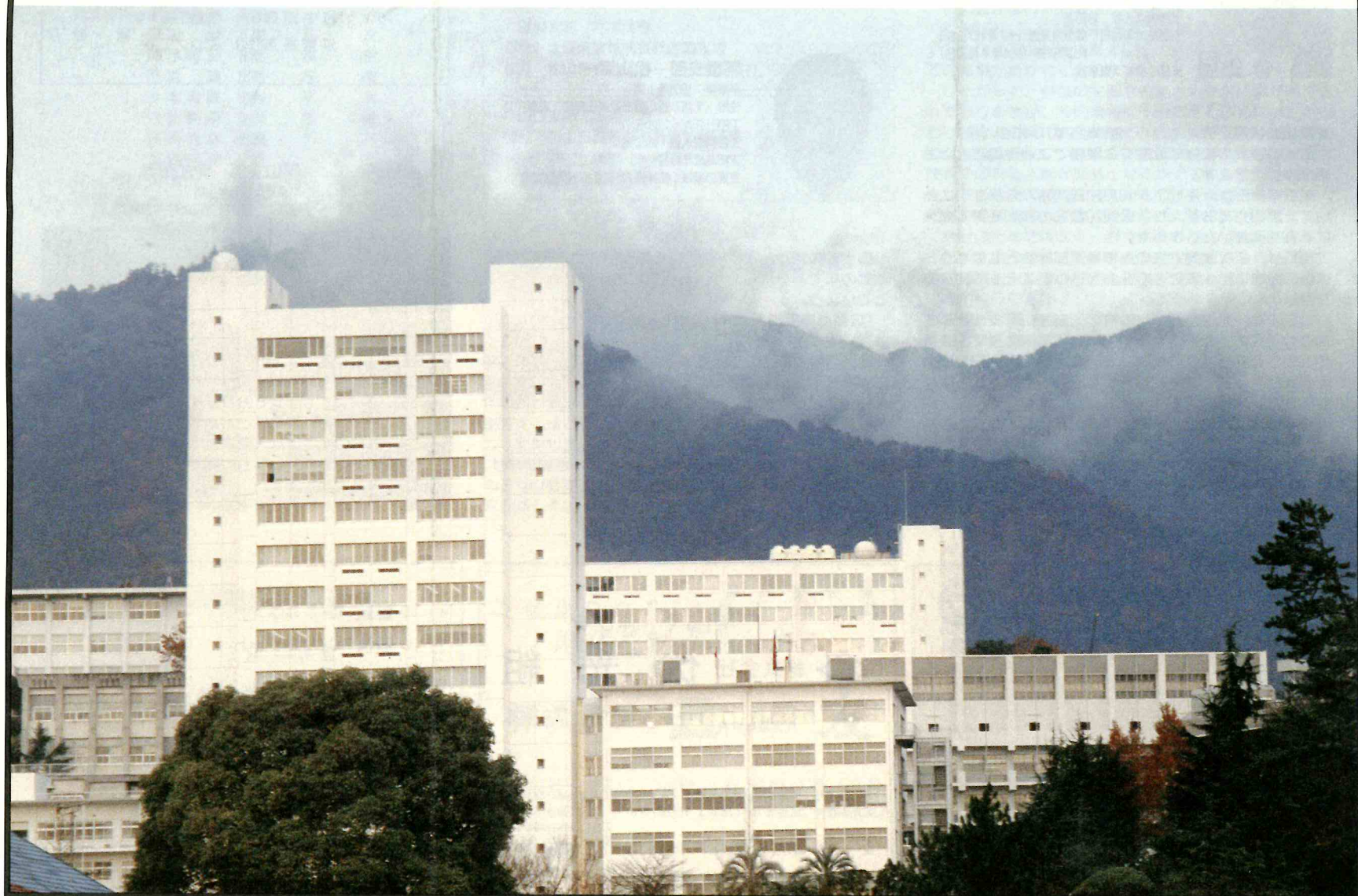
%の会員は連絡が取れず所在不明の方々であります。全国各地で多くの広土会員がそれぞれの分野で活躍されている事は、土木工学科教職員はもとより広土会と致しましても大変心強い限りであります。しかしながら、会員が多くなればなるほど母校や広土会の情報を届け難くなる事も事実であります。広土会本部におきましては、3年前から前会長の発案により、年1回支部長会議を開催し、大学の現状を説明させていただき、各支部を通して会員各位へその情報を流していただくことをお願いしてまいりました。また同時に、各支部からのご意見、ご要望を拝聴し、広土会活動の活性化を図る資料とさせていただきます。広土会が活性化していくためには卒業生会員が直接、間接的にその活動に参画していただく事が不可欠であり、また、その事が、将来土木技術者として社会に出ていく学生に対しても大きな刺激となり目的意識をもって専門知識を修得する大きな力になるものと思います。

今回お送りする広土会新聞が会員各位のお手元に届く頃は、新しい年度が始まり、会員においては転勤、又は新入社員の配属によって、新しい雰囲気や新年度の活躍を期し、張り切っておられる方も多い時期であろうと思います。今回の新聞の内容は、会員同士の情報交換の円滑化と広土会の活性化を目的として支部特集号と致しました。各支部が業種を越えて会員同士の情報交換の場となり、大きく発展していく事を期待しております。

さて、ご承知の方も多いかと思いますが、本学土木工学科は、平成5年4月より、都市工学コース(土木系)と建築工学コースとの2コースからなる学科に改組されました。従って、平成9年3月には、新土木工学科第1回卒業生として、土木系の卒業生と建築系の卒業生を送り出すことになります。当然の事ながら、広土会自体も30周年を機に卒業生のご意見を拝聴しつつ新広土会として対応してゆく必要があります。いずれにしても、卒業生会員各位におかれましては、土木系卒業生は勿論の事、建築系卒業生に対しても暖かいご指導、ご支援をいただきますよう心からお願い致します。

また、土木工学科には大学院修士課程が設置されたことはご承知の通りですが、加えて、平成8年度より、修士課程3専攻の基盤の上に博士後期課程(知的機能科学専攻)が設置されることとなりました。社会基盤の整備が進み、より高品質な施設が望まれるようになって今日、土木技術者には、広い視野、高い技術力、創造力、企画力が要求されています。卒業生におかれましても社会人教育制度を利用して、技術のRenewalを図られるのも一考かと思ひます。

最後に、申し遅れましたが平成8年度より、藤木会長のあとをうけて会長を仰せつかりました。また、副会長他役員も人身一新致しました。新役員共ども未熟者でございます、会員各位のご支援、ご鞭撻を切にお願いする次第です。



支部だより



関東支部 梶野良夫

卒業年：昭和45年2期
住所：〒274千葉県船橋市二宮1-63-12
TEL・FAX：0474-66-1610
支部構成人数：74名
支部結成年月日：S53年度
支部の領域：関東周辺

支部活動状況

年1回の支部総会、名簿作成、支部長会議への派遣、役員会議、広土会事業への支援、その他親睦事業。

本支部は地元出身者が少なく、ほとんどが中国四国地方を中心とした出身者です。しかし、仕事の関係で関東地方に居を構えることにより、ここが第2の故郷に成りつつあるのが現状です。支部総会は親睦と情報交換を目的に、平成7年10月22日で第12回を迎えました。毎年開催を目指していますが、やむなく開催できなかった時期もありました。今後も年1回の総会は続けていく方針です。会場は、案内し易いように、総武線お茶の水駅近くの東京ガーデンパレスに固定して開催しています。開催時には広土会より先生のご出席をお願いしています。出席して良かったと思って頂けるような会にしていきたいことを目指していますので、ご意見、ご指導をよろしくお願いいたします。



鈴木教授を中心に東京ガーデンパレスでの支部総会



島根県支部 小糠弘昭

卒業年：45年2期
住所：〒690 松江市殿町1番 島根県企画振興部
斐伊川神戸川対策課
TEL・FAX：0852-22-5088
支部構成人数：約60名
支部結成年月日：島根県支部 H7年10月28日
(山陰支部 S54年7月24日)
支部の領域：島根県

支部活動状況：会誌の発行（会員名簿）、総会

広土会会員の皆様には益々ご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。

島根県支部は、平成7年10月28日18時から松江市において、島先生をお迎えし、会員20数名の参加を得て盛大に総会を開催いたしました。

当日は、広工大同窓会の島根県支部総会とも重なり、会員の皆様には大変ご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

これまで、島根県及び鳥取県の区域を山陰支部として活動してきましたが、地理的に東西に非常に長く、会員相互間の連絡も取りにくいことから、島根県支部及び鳥取県支部としてそれぞれ独立して活動していくことになりました。

今回の総会が島根県支部としての発足会となりましたが、今後とも会員の皆様のご協力をお願いいたします。

最後に、広土会及び各支部の皆様のご発展を心より祈念いたします。



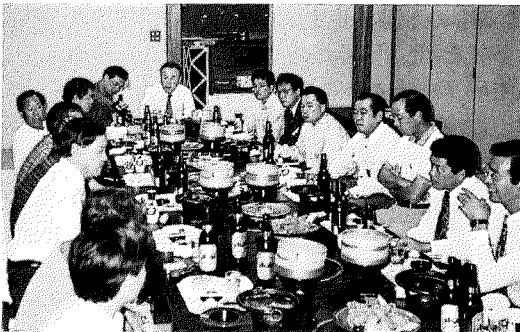
関西支部 大田隆三

卒業年：44年1期
住所：〒551 大阪市大正区南恵島6-2-21
TEL・FAX：06-552-1291 06-551-2455
支部構成人数：140名
支部結成年月日：S46年8月
支部の領域：大阪、兵庫、京都、奈良、和歌山、滋賀

1. 総会 1回/年
10月4日曜日（今年10月27日）13：00～
大阪市ナンバ（ミュンヘンビアーホール）
本部より恩師御招待
出席者毎年20名前後
2. 新年、花見歓迎会
4月2日曜日（今年4月14日）11：00～
西宮市風川公園 出席者毎年10名前後



95年10月支部総会



懇親会



阿讃支部 松山憲一

卒業年：1969年1期
住所：〒767 香川県三豊郡三野町下高瀬2215
TEL・FAX：0875(72)0623
支部構成人数：約50名
支部結成年月日：
支部の領域：徳島県(阿波) 香川県(讃岐)

広土会の皆さん、昨年は阪神大震災やオウム騒動など、激動の年でありましたが、お元気でご活躍されていることでしょう。

「広島県東部支部」が昨年発足・設立されたとのこと、お祝い申し上げます。

我が阿讃支部は、広土会本部の激励のもと、平成5年に支部復活会、平成6年に12名の出席で華やかに支部会を持つことができました。しかし、平成7年度は残念ながら支部会を開催することができませんでした。支部会員の皆さんには大変申し訳なくお詫び申し上げます。これからも、会の発展に向け努力していきたいと思います。会員の皆さん、ぜひ意見や情報をお寄せ下さい。



広島支部 景山敏則

卒業年：44年1期
住所：〒735 安芸郡府中町桃山二丁目10-1
TEL・FAX：082-282-5895
支部構成人数：
支部結成年月日：S45年
支部の領域：広島県及びその周辺に住所もしくは勤務先を有するもの

このたび、広土会広島支部長を仰せつかりました景山です。大役ではございますが、お世話をさせてもらうことになりました。

前任の山下さん（広島市役所）は、昭和45年の発足当時から昨年までの25年間連続して支部長を務められご苦労さまでございました。

25年間のなかで最もご尽力いただいたのは、昭和63年に行われました「広土会創立20周年記念事業」ではなからうかと思っています。広島支部の山下さんが先頭に立ってこの記念事業を進められ、当日は400名を超える会員の出席のなかで盛大に行われ、広土会の存在を大きくアピールされました。

私は、広島支部長になりましても、まだ日が浅く、会員数あるいは活動状況等につきましては、充分把握しておりませんが、これから広土会の発展のために、微力ながら全力を尽くしてまいりますので、広土会会員皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

広島支部役員

支部長	景山敏則(1)	広島県庁
副支部長	宮田宏昭(2)	広島県庁
	徳山 宏(2)	広島市
	荒谷寿一(4)	荒谷建設コンサルタント
事務局長	狭戸尾浩(2)	広島県庁
副事務局長	河原不二夫(3)	広島県庁
会計	伊藤岳司(16)	広島県庁
監査	石井卓朗(2)	広島市
	奥川 浩(3)	広島構造技研
幹事長	竹内勝喜(1)	増岡組
副幹事	尾山正継(2)	小松建設工業
	三浦勝行(3)	山陽技術コンサルタント
	出口俊実(4)	宮川興業
	寺本章(5)	富士設計コンサルタント
	長谷川和志(6)	長月興産
	大野平和(8)	伏光組
	村中昭典(16)	広島工業大学
	舩繁昌志(17)	マシノ工業



岡山支部 青江邦男

卒業年：1996年1期
住所：〒701-21 岡山市中牧705
TEL・FAX：086-228-0315
支部構成人数：100名
支部結成年月日：S56年8月
支部の領域：岡山県内に居住する者、勤務する者

広土会発足30周年、おめでとうございます。本部の活動の状況頼もしく思っております。又会誌は毎回楽しく読ませてもらっております。今後も頑張ってください。支部の活動は現在ほとんど休止の状況です。この点本部、支部の方々には大変ご迷惑をおかけしております。今後は役員会を近いうちに開き、再開に向けて検討したいと考えております。

マルチメディアの基盤を創る 総合エンジニアリング企業



ヒロケン
広島建設工業株式会社
本社 〒730 広島市中区南千田東町12-32
TEL (082) 504-3345 FAX (082) 504-3349

総合建設業

明るく 伸びる



代表取締役社長 伏見 幸彦

本社 広島市西区観音本町1丁目4番12号 電話(082)232-5371
出島事務所 広島市南区出島1丁目33番61号 電話(082)253-6161
FAX (082) 254-4581
支店 松江市 営業所 三次市 東広島市

- 建設コンサルタント
- 測量
- 補償コンサルタント
- 地質調査

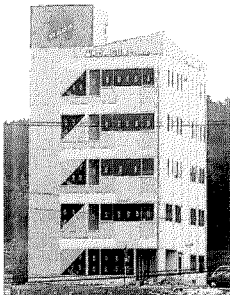


本社/福山市川口町一丁目7番3号(〒720)
TEL(0849)54-2411 FAX(0849)54-1434
広島支店/広島市安佐南区中須二丁目5番30号(〒731-01)
TEL(082)876-2411 FAX(082)876-2245
事業所/三次・庄原・世羅・三原



広島県北支部 和田一雄
 卒業年：'72年4期
 住所：〒739-18 高田郡高宮町大字佐々部1073-3
 TEL・FAX：0826-57-1314 57-1305
 支部構成人数：31名
 支部結成年月日：H2、8、30
 支部の領域：三次市、庄原市、高田郡、双三郡、比婆郡、神石郡、甲奴郡、島根県邑智郡

現在31人の正会員と5人の準会員とで支部を構成しています。年会費は、正会員は、1万円です。(準会員からは、頂いていません。)活動状況は、年3回の行事(総会を含む)と、それに併う役員会を3回程度を目標としていますが、今のところ年3回の行事を行うには至っていません。行事の内容は、親善旅行と定期総会です。定期総会は毎年1月の第3土曜日に行うことを決めています。先日、第7回の総会を開催し、広土会より島、二神の両先生をお迎えし、盛大に行いました。親善旅行は、昨年は、青森の小牧温泉へ行きました。旅行への参加が仕事及び地域の行事等の都合で少ないのが残念です。広土会への会費の納入についてですが、県北支部では、一昨年より年会費の中から正会員の会費をまとめて支払いを行っています。これからも広土会の本部と連携しつつ、息の長い活動をして行きたいと思っておりますので、よろしくお願いします。



完成間近の榊和田組(和田支部長のビル)



第7回総会記念写真

広島会広島県北支部役員名簿

役員	氏名	担当
支部長	和田一雄	4期
副支部長	国原定明	10期
理事	植田誠	5期
	賀地省三	6期
	門世肇	10期
	今本清蔵	10期
	白池和義	11期
	栗矢秀樹	13期
	加藤雅規	17期
監事	児玉信二	5期
事務局	岩崎猛	15期
		神石・甲奴・比婆



広島県東部支部 古谷秀次郎
 卒業年：S44年第1期
 住所：〒722 広島県尾道市山波町2857-6
 TEL・FAX：0848-37-7174 同左
 支部構成人数：95名
 支部結成年月日：H7年10月7日
 支部の領域：福山、尾道、三原近郊の県東部地域

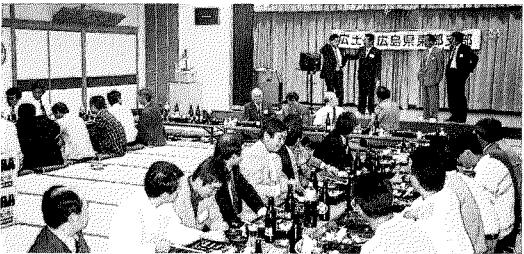
昨年10月に広島県東部支部を結成いたしました。設立総会には泊り込みで、45名もの会員が出席し、広土会本部からも多忙中、伊藤副会長をはじめ鈴木先生、島先生のご臨席をいただき盛大に行うことができました。

主たる目的は、会員相互の親睦と交流を掲げ地域内の情報交換を密に持ちながら各会員のより発展を期待する次第です。

今後の運営に際しましては幹事を卒業年度を5年区切りにし、その年次の中から選出するものとし、会員全員の意志ができるだけ反映する様考慮いたしました。どうぞ、今後共、ご指導、ご声援の程をよろしくお願いいたします。



支部発足記念撮影



支部発足 先生と全員で乾杯

○鳥取支部 西藤正和
 (勤) 株式会社設計事務所 TEL 0857-31-4808
 (自) 鳥取市湖山町南3-360 TEL 0857-28-2594

○愛媛支部 鴻茂茂彦
 (勤) 大成建設株式会社四国支店
 (自) 松山市場の山7-8-5 TEL 0899-77-5503

○山口支部 渡辺 勉
 (勤) 徳山市役所都市計画部街路課
 TEL 0834-22-8446
 (自) 徳山市遠石町1-12-1

社会人となられる方に



株式会社 三友
 三浦 勝行

悪夢の様な1995年が去り、えとの始まり、子年となった今年、広土会も設立27年となり、30周年に、わずかなとなりました。

20周年が昨日の様な気が致します。時が過ぎるのは早いもので、一期生の方は、満50才になられる事と思います。

皆様におかれましては、それぞれ重要なポストにつかれ御活躍の事と存じます。

さて、今年も、新年度が近づき、新入社員を迎える季節となりました。

社会人となられる方に、常々思う事がありますが、学生と社会人との違いを、この時期に認識しなくては、ならないと思います。

学生時代は、60点取れば及第点ですが、そのかわり、人に聞く事、本を見る事、計算器を使う事も許されません。しかし、実社会においては、誰に聞いても良い、何の本を見ても良い、又、コンピューターを使っても良い、但し、相手が100点と認めなければならない。ここに違いがあるのではなからうか。

技術力とは、自分では60%の労力でやっても、相手に100点と感じさせる40%の差がその人の技術力ではないかと思えます。

今後、尚、厳しい、現状化に立ち向わなければならないと思えます。

最後となりますが、広土会の発展と皆様の御健康をお祈り申し上げます。

建設コンサルタント業について

株式会社 三友
 荒谷 壽一

早いもので、広工大土木を卒業して23年を過ぎようとしております。

卒業生の方々もあらゆる所で活躍され、又学校も生徒から人気も良く、素晴らしい人材を輩出され、卒業生の1人として大変心強く思っております。

さて、わたし自身建設コンサルタント業に身をおく者として、建設コンサルタント業について簡単にふれてみたいと思えます。

建設コンサルタントは、昭和39年の建設コンサルタント登録制度創設を契機に、飛躍的な成長をとげております。ちなみに昭和39年に226社だったものが、平成2年には2,200社と10倍ほどに増大し、又建設コンサルタントの国内市場総額は、平成4年では約1兆1,000億円~1兆3,000億円(官公庁約7,200億円 民間6,000億円)の市場となっており、昭和40年官公庁約70億円の実に100倍に増えております。

特に我が国の社会資本については、1995年以降10年間で630兆円に及ぶ「公共投資基本計画」に基づいて、環境や文化性に富んだ活力ある国土の実現のための基盤としての整備が急がれております。

したがって、今後の主要な役割と大きな活躍が期待されておりますが、その期待に十分応えていくには、とりわけ技術者の質の向上に努め、社会的評価を高めて行かねばなりません。つまるところ建設コンサルタント業は技術力のある人間が商品となる訳ですから、当社におきましても社員の教育に特に目を向け技術者として、又人間として自信のもてるよう計画的に育てております。

会社のためではなく、自分自身の為に努力してほしいと思っております。そして、会社を活躍舞台として、自分達の演出を自分達がそれぞれに主役を演じ、自分自身の人生ドラマを作っていくという気概を持つよう積極的な姿勢が必要であると思えます。

当社は、現在広工大卒業生27名、今春3名入社が決定しており30名となります。

会社の中では一大勢力ですが、広工大の卒業生にまかせておけば大丈夫と言われるよう、研鑽を重ねているところであります。

建設コンサルタント業はこれから成熟していく業種でありますし、又やりがいと魅力ある職種です。在校生の皆様も、どしどしコンサルタント業界へ入社されるよう希望しております。

豊かな人間社会を創造する

総合建設業



株式会社 増岡組

代表取締役社長 増岡 正剛

本社/東京都千代田区丸の内1-8-2鉄鋼ビル ☎03(3284)-9780
 呉本店/呉市中央1丁目6-28 ☎0823(21)-1441
 広島支店/広島市中区大手町1丁目2-1 ☎082(248)-1421

Supporting Now
 時代をサポートする

株式会社 三友

本社 〒747 防府市駅南町9番43号
 電話 0835-22-2160

営業所 広島 岩国 下松 宇部 下関 萩 浜田

極東工業株式会社

本社 広島市東区光町二丁目6番31号
 電話 (082) 261-1207



高志願率を維持する
「広島工業大学 土木工学科」の魅力

去る2月3日(日)の平成8年度一般入学試験(前期)において、土木工学科は募集人員56名に対し860名の志願者がありました。

本学科は、平成5年度一般入学試験から連続4年間、工学部内での競争率第1位を維持し続けており、また、女子受験者数も今回52名と、過去4年間連続して工学部第1位となりました。

本学科が受験生に支持される「魅力」はどこにあるのでしょうか。

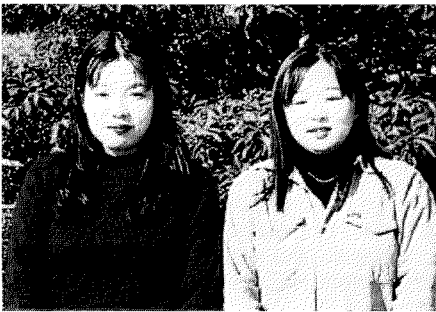
土木工学系は、ほんの数年前まで3Kイメージの分野の1つでした。しかし、大学、学会はもとより企業等の関係者がスクラムを組んでイメージの刷新に努めたこと、バブル経済の崩壊後、受験生が実学(資格取得を含む)を指向したこと、また一昨年の阪神大震災を目の当たりにし、我が国が避けて通れない大規模災害の対策について、最も回答が期待される分野であること等により、社会に新しい「土木工学」のイメージが定着しつつあるものと思われます。

本学科では、平成5年度から、従来の建築学科のエンジニアリング分野を含んで「建築工学コース」とし、併せて土木工学分野を「都市工学コース」として特色化し、土木・建築工学分野を「総合的」に学べる全国的にもユニークな体系を持つ学科となり、また「超氷河期」とまで形容される就職難の現在においても、すでに例年どおり内定100%を達成しました。これからの実績が評価され、受験生減少の中にあって、なお志願者を増やし、高い競争率を維持し続けている大きな理由と言えます。

入試年度・区分	競争率		女子志願者数	
	土木工	工学部	土木工	工学部
平成8年度 一般入試(前期)	3.1	2.6	52	135
平成7年度 一般入試(前期)	4.1	3.3	45	108
平成6年度 一般入試	4.7	2.9	38	101
平成5年度 一般入試	4.6	3.2	52	127

注)競争率=受験生÷募集人員

目標、夢そして、その実現に！

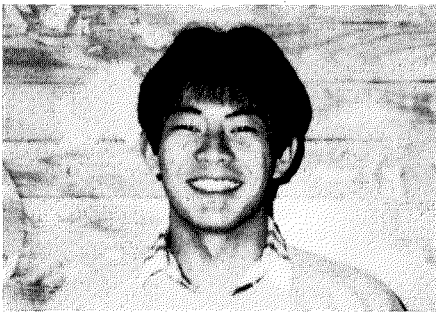


土木工学科都市工学コース4年次生

今井 恵美

土木工学科都市工学コース4年次生

才木 美世子



土木工学科都市工学コース3年次生

宮河 元

土木工学科に入学した直後は女性が少ないということもあって多少の不安もありましたが、大学側の種々の配慮によって、いまでは随分大学生活を送りやすくなりました。講義や実験でも男女の差を感じたことは全くなく、充実した毎日を送っています。

いま私が学んでいる都市工学の分野は非常に幅広く、道路、橋梁、河川、海岸、上下水道、交通、都市計画など多岐にわたっています。また、いつの時代にあっても、人間の生活に極めて密接に関わっているロマンに満ちた工学といえます。卒業後は、適性に応じて国家や地方公務員、各種構造物の設計あるいは施工管理など様々な道があり、最近は大学院に進む先輩もかなりおられます。

「何か設計がしたい」とぼんやりと思いつつ入学を果たしてから、早くも3年目の後半を迎えました。本学科では、1年次に土木と建築に共通する学科目を、そして、2年次からは都市工学コースと建築工学コースに分かれて、より専門的な科目を学びます。私の場合、入学当初はどちらのコースに進むかかなり悩みましたが、橋に興味を覚え始め、都市工学コースを選びました。

本コースのカリキュラムは、構造力学、水理学、土質力学、計画学、測量学など、幅広い土木工学のあらゆる分野の専門性が身に付くように組まれています。また、3年次後期の建設ゼミナールでは、自分にもっとも適した分野をより深く学ぶことができ、私は今、橋の構造や設計を勉強できる研究室に所属しています。

ぜひ一緒に、今以上に豊かな国づくり、街づくりをめざして頑張りませんか。

島根への建築物見学旅行に参加して

築工学コース1期生(現4年生)の希望者による建築物見学旅行が昨年11月10日11日の1泊2日で出雲・松江市において行われた。見学したのは出雲大社庁、菊竹清訓の設計の県立図書館、県立博物館田部美術館、高松伸の設計の国引メッセであった。「百聞は一見に如かず」

建築物は雑誌や本で見ることでもできる。しかし実際に現地で見学することにより、建築物のみならず、設計した建築家までも肌で感じる事が私はできた。菊竹清訓の設計のほとんどが約30年前の建築物であるにもかかわらず、その時代の見先性や斬新なアイデア、また高松伸の大胆な造形。このとき設計製図において美術館の自由設計をしていた私にとっては、驚きとともにある一種の悔しさを感じた。「情熱は生命のない石でドラマをつく



りあげる」(ル・コルビジェ)

この見学旅行は建築工学コースにとっては初めてのことであったので様々な困難や苦勞を伴った。4月初旬にアンケートを行ったがどこに行くのか、いつ行くのか、費用などで意思がまとまらないまま時は過ぎていった。そのような中で高松教授非常勤講師の有馬先生のご配慮により島根に決定、当日の引率までしていただいた。そして金銭面や大学側と学生側のパイプ役として浅野助教に大変にお世話になった。また企画やバスの手配、宿の手配、資料作成など多忙の中わずかな時間を作っては中心メンバーが奮闘していた。

このように多くの方々を支えられて見学旅行は終わった。しかし建築のあらゆる世界で活躍していくであろう卵の浮化がこれより始まった。



土木工学科建築工学コース4年次生 沖野 友康

新世紀に羽ばたく鳳雛の君、合格本当におめでとう。「寒さにふるえた者ほど、太陽の暖かさを感じる」とのホイットマンの詩があるけれども、今まさに、その夜明けを君自身が感じているのではないだろうか。

私が建築工学コースの友人たちの話を聞いて、いつも驚かされるのは、そのほとんどが建築好きであり、構造をやりたいとか、設計をやりたい等、何らかの夢をもっているということである。また、入学時は夢がなくても、学んでいくうちに、「やりがい」、「喜び」を感じて、夢をもつ人もいる。また、親の仕事が建築業であるというのもよく聞く。君もどれかに当てはまるのではないかと、私は思う。その私も、現在、一級建築士になって社会に貢献する人材になるため、日夜、努力している。

さて、建築工学コースの2年次では、建築技術者としての基礎内容を学ぶ。3年次では、実験・実習・演習を通して、講義内容を高度に展開し、幅広く学んでゆく。

以上のことは、先生方から与えられる、いわゆる「知識」と言えるかもしれない。しかし、その「どうなるか」という「知識」から、「どうする」という「知恵」に変えるのは、君自身にかかっている。いや、その発見を、心から待っている。

exeo

めざせ21世紀

豊かな社会づくりを担うテクノクラスターカンパニー

株式会社 協和エグシオ 中国支店

〒733 広島市西区小戸内町2-7-11 TEL082(294)9111

sutahara

齋 砂原 組

本社 広島市中区平野町1番16号
電話 (082)243-7421(代表) ☎730

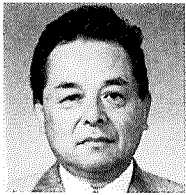
支店 東京都渋谷区千駄ヶ谷1丁目20番3号
電話 (03)3478-1021(代表) ☎151

地球の未来に挑戦する

日本基礎技術株式会社

広島支店

〒730 広島市中区広瀬北町3-1-1
☎082(234)2300 ☎082(234)2301
管内事務所 山口営業所・島根営業所
岡山出張所



新任挨拶

土木工学科教授
吉國 洋

初めまして、吉國洋（よしくにひろし）でございます。広島大学を定年退官とともに、昨年4月より広島工業大学の一員に加えて頂くことになりました。残り火をかき集め、美しいキャンパスの中で精一杯教育と研究に努力してみたいと考えております。どうかよろしく申し上げます。私の生まれ育ちは山口県岩国でありまして、いまも岩国に住んでおります。趣味は多趣味で、何でもしますが、取り立てて申し上げるほどのものはありません。専門は地盤工学で、軟弱地盤を得意にしております。実務問題で皆様のお役に立てる機会があれば、大変幸せであります。声をかけて下さい。お待ちしております。



おわかれに際して

土木工学科教授
岡野兼夫

昭和43年（1968年）から27年間の在職は、終ってみれば、長かった様でもあり、短かった様でもある。お世話になった鶴総長（理事長）先生ならびに歴代の学長先生と諸先生方、および事務職の皆様方に改めて深く感謝申し上げます。

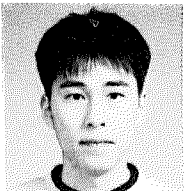
さて、在学生と約3,000人の土木工学科卒業生のご多幸を祈りつつ、おわかれの言として、「無理せず、持てる力を100%出す日常であれ」を贈ります。

持てる力以上の力を出すことも時には必要ですが、これは長続きしません。無理を続けられ、身体を壊したり、永い眼で見れば損になります。しかし力がありながら常に楽を取り、要領良く立ち廻る人は、なかなか実力が伸びず、これも損です。

力を惜しみなく出して勉強や仕事を黙々と続ける人のみが、やがて年齢と共に若い時の力を何倍にも増やし、充実した人生を全うできると信じます。

在学生と広土会の諸君、人生は長い！それぞれの人生を楽しみつつ持てる力（能力）を伸ばし続け、最良の人生を実現されんことを願います。

終りに、すべての源である「健康」を心からお祈りしております。



温井、玉泊ダム 見学会について

土木工学科 都市工学コース
武市 尚久

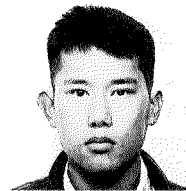
この見学会は平成7年11月7日、授業の一環としてダム建設の知識をひろげるために実施されました。温井ダムは、堤高155mのアーチ式ダムであり黒四ダムに次ぐ高

さでその規模の大きさには驚きました。そしてこのダムは太田川水系初の多目的ダムであり発電はもちろん、洪水調節や水道用水の確保等の目的があり昭和52年度より建設に着手しています。

平成6年に全国的におこった異常渇水は、広島県にも社会生活に莫大な影響を与えました。その際に水資源の対する社会的認識が高まりました。私たちの暮らしのためにもいち早いダム完成を目指してほしいものです。

実際、建設現場を見学する機会などは少なく非常に新鮮な気持ちで見学することができました。将来、仕事でこのダムのような巨大プロジェクトに携わることができればと思います。

またこのダム建設現場はドライブコース、ナイトスポットとして人気もあり、ダムサイトの近くには展望台もあり完成するまでの建設段階における状況などを見学してもおもしろいと思います。



大学祭

広土会幹事長
鈴江 勝

平成7年はまさに波乱の年でした。1月17日午前5時28分阪神大震災が発生しました。私もそのとき地震によって目が覚めたのですが、それからまたうとうとして気がついたら7時だったので何も知らないまま学校に行って、その日の授業を終え夕方ガソリンスタンドにバイトに行きました。テレビを見るとまるで空襲にあったような町の姿が目に入ってきました。これが神戸だと聞き、大きなショックを受けました。阪神大震災が社会に投げかけた波紋は大きく、我々広土会はこの事件を学科展としてとりあげました。パネル展示、ビデオ上映、阪神大震災についての新聞の切り抜きを中心に展示を行いました。2日間での入場者は200人程度で大成功と言えると思います。最も嬉しかったことはその新聞記事を来られた方々が一生懸命読んでくれたことです。そして、少し難しいアンケートをだしてみました。①なぜ震源に近い大阪が震度4でそれより遠い京都で震度5が観測されるのか。②あなたは神戸にボランティアに行こうと思いましたか。③横倒しになった阪神高速はなぜ根元から折れているのか。④なぜビルの中階層がつぶれているのか。⑤耐震基準の見直しがうたわれているが、当然コストのかかる問題である。どう両立するべきか、など。

入場者は一般や女子学生が多く、工大生に言心わしても「この問題は難しすぎる」と言われたような問題でしたが、みなさんは一般人としての貴重な意見をたくさん残して下さいました。震災から1年たった今、解決できた問題と新たに発生した問題があると思います。我々広土会は、マンネリ化している工大祭の中で常に違うことをやりつづけていることを誇りに思っています。また、多くの先生やOBの方々にご協力をいただき、ありがとうございました。今後とも広土会をよろしく願います。



平成7年度の 就職斡旋始末記

助教授（就職委員）
島 重章

例年以上に人数の多いクラス（154名）の就職担当を引き受け、この不況の世相の中で今までにない不安材料を抱えてのスタートを切ったが、4月半ば以後は一日のほとんどが訪問される企業の方々への対応に明け暮れ、研究室に戻って明日の準備にかかるのが17時以降の毎日で、研究室の卒研生に合わずじまいの日もしばしばであった。その甲斐あって夏場を迎える頃には、土木工学科の学生達の進路状況は急速に進展した。

内定がでてくると、やはりうれしいものだ。心配していた学生が採用内定の知らせを聞くと、良かったなと祝福の握手を交わす者。決まりましたと、にこにこ顔で報告に来る者等々。しかしながら、決まってもいつまでも報告に来ない者、うれしいのか、不安なのかははっきりしない者等、学生の数が多い分、いろんな学生がいるものである。また、試験に失敗した学生もいたが、土木工学科の今年は、内定者の多い数に比して意外に失敗する数の少なかったことにやや安堵感を覚えた。

この様な状況の中で、大学院進学は例年通りではあったが、特に設計や研究開発を希望する学生は、今後ともぜひ大学院へ進学してもらうことを望んでいる。今年は既に9名の進学が決定している。

学生のほとんどは、良き物質文明の中で生まれ育っている。その反面、友人や経験に乏しく、自ら求めることの少ない成長過程の中にあつて、企業が求めるほどには積極的に動けないのが現実であろう。企業の方との対話の中に、1年経ったら見違えるようになりますよと言われる企業なら、きっと学生達を理解して成長させていただけのと考え、そういう企業への斡旋を継続して行きたいと考えている。

また、その中には、先輩諸氏のすばらしい活躍がある事を忘れてはならないのである。その証として、工大生ならばまちがいない、工大生ならばぜひ採用したいといった声を多く聞いてきた。この不況の中で聞ける真実をぜひ大事にして行きたいと考えている。

主な進路先

広島工業大学大学院

国家公務員上級Ⅱ種（中国地建、九州地建、近畿地建）

広島県、愛媛県、島根県、広島市、姫路市、松山市、宇和島市

千代田コンサルタント、パスコ、荒谷建設コンサルタント、国際水道コンサルタント、中電技術コンサルタント、川田テクノシステム、ウエスコ、出雲、陸地コンサルタント、四国建設コンサルタント、広島道路エンジニア 他 大本組、神崎組、広成建設、日本基礎技術、クボタ建設、東亜建設工業ハンシン建設、日本舗道、大成ロテック、りんかい建設、中電工、鹿島道路、日本橋梁、極東工業、東興建設、竹中土木、ライト工業、日本鋼管工事、前田道路、奥村組土木興業、大旺建設、ピーエス、洋林建設、日本製紙 他

集計（H8.3.25卒業）

進学	コンサル	建設業	公務員	その他	計
9	41	71	21	6	148名
6.1	27.7	48.0	14.2	4.0	100.0%

高速通路の安全と快適を守る

広島道路エンジニア株式会社

代表取締役社長 世 良 至

広島市東区光町1-13-20 ディア・光町7F
TEL 082-264-4402 〒732

人間と自然を
考える...

それが、私たちのテーマです。



総合コンサルタント
荒谷建設コンサルタント
代表取締役 荒谷 壽一（4期卒）

本社〒730 広島市中区江波西1丁目2番5号
TEL(082)292-5481 FAX(082)-294-3575

CIVIL ENGINEERING CONSULTANT
IZUMO CO., LTD.

総合建設コンサルタント
株式会社 出雲 広島支店

広島市南区東雲2-17-19
TEL 082-283-0381

本社〒194東京都町田市本宮町67番地4

『7期生・20周年会』

藤光 孝司

他人事のように思っていた工大卒業20周年。46年入学の我々の20周年は、あっという間にやってきました。ついこの前、卒業したばかりなのにと思ひながら集った面々の姿を見ると、頭に白いものが目立ち、なる程と感じます。

祝賀会は、1月27日メルパルク広島にて、執り行いました。母校よりも、御多忙のなか、中山、皆田、鈴木、伊藤の4先生に御出席いただき、卒業生39名と歓談の場をもっていました。

当日は、大変にぎやかでした。なつかしい話、昔話に話がはずみ、司会者の声が聞こえないくらいでした。予定の2時間は、またたく間に過ぎ、またの再会を期したのでした。

今回は、25周年となります。7期生の方々、今度は全員参加でお会いしましょう。また、広島在住の者が御案内いたしますので、近くの者をさそいあって、御参加下さい。

工大の1号館前に、我々の記念樹を植えました。大石さん（河崎組）の協力で、りっぱなクロガネモチを植えました。一度見てやって下さい。

最後に母校の益々の発展と、先生方の御健勝、御活躍を祈念してペンを置きます。



記念樹（クロガネモチ）



7期 20周年

8期 20周年・18期 10周年のお知らせ
H 8年にそれぞれの同窓会を開催しましょう。
幹事さんのご連絡をお待ちしています。
広島工業大学 広土会

『広島工業大学土木工学科17期同窓会によせて』

中村 透

1995年8月12日、メルパルク広島にて我々17期生の卒業10周年ということで、広土会から現先生をお迎えして同窓会を開催しました。

「ひさしぶりじゃのう」

「元気しとったか？」

「おまえ、太ったんじゃないか？」

会ったとたんに出てくる言葉は以上のような言葉が一番多かったように思います。10年ぶりに見る顔は美青年の面影もなく（美青年の基準とは？で想像におまかせいたします）、皆それなりに男として味のある顔になってきたように思えます（それなりに腹も出てきたが）。

突然の召集にもかかわらず、卒業生104名の内33名が出席してくれました。広島は勿論、関東、関西からも仲間が出席してくれたことは、本当にありがたく皆様のご協力に感謝しているしだいで。

さて、同窓会の内容ですが、島先生にご挨拶をいただきまして開会しその後出席者全員が1分間の持ち時間で各自の近況報告をしていただきました。その中でやはりいろいろ苦労した話、困難な仕事をやり遂げた話、又、結婚できた（やっと）子供ができた等皆さんもいろいろご苦労があったんだと感じたものでした。このあいだまで机を並べて講義を受けていたような気がします、我々も33才そろそろ社内でも管理職に就く人間が増えてきたようです。又、独立して会社を興したものの、家業を継いでいる者等立場は違うかもしれませんが、10年ぶりに会って話をする事で皆の悩みや経験、そして喜びを共有する事ができた様な気がします。やはり社会に出て10年ともないますと学生の頃には考えられないような発言が飛び出して皆がどよめいたり（こんなまともなことを言う奴ではなかった）、楽しい話には皆大笑いして約2時間の予定時間がアッと言う間に過ぎていました。さすがに最初は皆久しぶりに会ったので多少ぎこちない様子でしたが、すぐ昔と変わらず打ち解けて話ができる、やはり友達は良いな、同窓会をして良かったなと心より思いました。さて、我々17期生の次の同窓会は5年後、15周年を目標としております。それまでお互いに励まし、励まされ協力し合って仕事も私生活も充実したものとなるようがんばろうと誓って同窓会は無事終了いたしました。どうか同窓会を無事開催することができたのも仲間の協力と広土会、特に皆田先生、島先生、伊藤先生、村中さんにはいろいろお世話していただいたことをこの場をおかりして感謝の意を表したいと思います。本当に皆様ありがとうございました。



17期 10周年（1）



17期 10周年（2）



ライト工業株式会社

代表取締役社長 川合 恒孝
〒102 東京都千代田区九段北4-2-35
TEL.03-3265-2551（大代表）FAX.03-3265-0879

いまを見つめて未来を育む…

土木・建築・電気・機械・環境・情報処理など

総合技術力で21世紀の
地域社会をプロデュースします。



中電技術コンサルタント株式会社

取締役社長 白木 堅固

〒734 広島市南区出汐2丁目3番30号
電話 082(255)5501(代)



大きな信頼 確かな技術
鹿島道路株式会社

中国支店長 高藤 隆

〒730 広島市中区大手町2丁目1番1号
(商中日生ビル)

TEL 082-247-1851
FAX 082-247-1854